



株式会社日本レジストリサービス

URL : <https://jprs.co.jp/> URL : <https://日本レジストリサービス.jp/>  
E-mail : [info@jprs.jp](mailto:info@jprs.jp)

Japan Registry Services CORPORATE PROFILE

株式会社日本レジストリサービス ● 会社案内



東京本社  
〒101-0065 東京都千代田区西神田3-8-1 千代田ファーストビル 東館 (総合受付12F)  
TEL: 03-5215-8451 FAX: 03-5215-8452



JR大阪駅(桜橋口)、地下鉄西梅田駅(南改札)などから地下通路にて直結(C72出口)

大阪オフィス  
〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ10F  
TEL: 06-7639-6001 FAX: 06-6455-5324



# ネットワーク社会に貢献し、豊かな社会の実現へ

## インターネットの基盤を支え、豊かな未来を築く

今や現代社会を支える重要な基盤の一つとなったインターネット。中でもドメイン名はインターネットにアクセスする際の鍵となる不可欠なものです。株式会社日本レジストリサービス(JPRS)は、ドメイン名の登録管理と、ドメインネームシステム(DNS)の運用を通して、インターネットの基盤を24時間×365日支えています。

## ドメイン名関連技術とJPドメイン名の価値創造を通して、社会に貢献する

ドメイン名の登録管理とDNSの運用を、より安定的で信頼性の高いものにするためには、最新の高度な技術が欠かせません。さらに、ドメイン名の運用で培ったDNS関連技術を応用して、新しいサービスを社会へ提供することも、ネットワークの基盤を支える企業としての重要な課題と考えます。そのため、私たちJPRSは、新技術の開発や研究にも日々積極的に取り組んでいます。

また、JPドメイン名は日本国内だけでなく、世界中から利用できます。そのため、JPRSは「JPドメイン名」が、日本のみならずグローバルなコミュニティにとって、より利用しやすく価値の高いものとなるように、サービスの改善・開発、プロモーション活動などに取り組んでいます。

## ネットワークの基盤を支える企業としての責任

私たちは、ネットワークの基盤を支える企業として、その重要性を認識し、期待に応えるため、様々な方策を講じ、信頼性の向上に努めています。さらに、国内外のインターネット関連組織や日本国政府と十分な連携をとって、インターネットの発展に寄与しています。

JPRSは今後も、社会にいっそう貢献できるよう、さらなる努力を続けてまいります。

## 企業理念

JPRSは、ネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献します。

代表取締役社長 東田 幸樹



## □会社概要

商号	株式会社日本レジストリサービス
略称	JPRS
設立	2000年12月26日
所在地	【東京本社】 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-8-1 千代田ファーストビル東館(総合受付12F) TEL 03-5215-8451 FAX 03-5215-8452 【大阪オフィス】 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ10F TEL 06-7639-6001 FAX 06-6455-5324
E-Mail	info@jprs.jp
URL	https://jprs.co.jp/ https://日本レジストリサービス.jp/
資本金	3億4,414万円
役員	代表取締役社長／東田 幸樹 取締役副社長／堀田 博文 取締役／宇井 隆晴 取締役(社外)／室町 正実 取締役(社外)／小湊 高晴 常勤監査役／林 茂広 監査役(社外)／堀内 巧 監査役(社外)／大竹 たかし 監査役(社外)／広瀬 啓雄
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
社員数	123名(2023年4月1日現在)
主要取引銀行	三菱UFJ銀行 みずほ銀行 三井住友銀行
取得認証など	ISO27001(ドメインレジストリ事業) WebTrust規準

## □沿革

<b>2000年</b>	<b>12月22日</b>	JPNIC第11回総会にて、JPドメイン名登録管理業務を行う新会社の設立を決議
	<b>12月26日</b>	株式会社日本レジストリサービス設立
<b>2001年</b>	<b>2月5日</b>	汎用JPドメイン名の登録に関する業務代行契約をJPNICと締結
	<b>2月22日</b>	汎用JPドメイン名の事前登録申請受付を開始
	<b>5月7日</b>	汎用JPドメイン名の先願登録申請受付を開始
<b>2002年</b>	<b>1月30日</b>	日本国政府がICANNに対して、JPRSへのJPドメイン名登録管理業務の再委任についてエンドース
	<b>2月27日</b>	ICANNとの間でccTLDスポンサ契約を締結
	<b>4月1日</b>	JPドメイン名登録管理業務をJPNICから移管
	<b>12月20日</b>	第三者割当増資を実施(新株主11社)
<b>2003年</b>	<b>6月30日</b>	ICANNより国際化ドメイン名サービスに関する承認文書を受領
	<b>10月1日</b>	自己株式の第三者割当を実施(新株主2社)
	<b>2004年</b>	JPNIC保有株式の一部について譲渡を承認
	<b>4月1日</b>	Mルートサーバーの運用に参画
<b>2005年</b>	<b>12月20日</b>	JP DNSの更新間隔短縮を実施
<b>2006年</b>	<b>4月3日</b>	汎用JPドメイン名に「廃止ドメイン名の登録回復手続」を導入
<b>2007年</b>	<b>3月4日</b>	JP DNSにIP Anycast技術を導入
	<b>12月4日</b>	JPドメイン名の登録数が100万件を突破
<b>2008年</b>	<b>3月1日</b>	JPドメイン名サービスにDNSSECを導入
<b>2011年</b>	<b>1月16日</b>	都道府県型JPドメイン名を新設
<b>2012年</b>	<b>11月18日</b>	JPNICとJPドメイン名登録管理業務移管契約に関する覚書を締結
<b>2013年</b>	<b>3月13日</b>	大阪オフィスを開設
	<b>11月1日</b>	ICANN及びJPNICとICANN文書の日本語翻訳に関し協力する旨の覚書を締結
<b>2015年</b>	<b>6月22日</b>	「JPRSサーバー証明書発行サービス」の提供を開始
<b>2016年</b>	<b>4月26日</b>	電気通信事業法等の一部を改正する法律の施行に伴い、電気通信事業を届出
	<b>6月13日</b>	汎用JPドメイン名の登録数が100万件を突破
<b>2017年</b>	<b>9月1日</b>	電力系通信事業者8社と大規模災害時のインターネット継続利用に関する共同研究の成果を公開
	<b>10月31日</b>	JPドメイン名の登録数が150万件を突破
<b>2018年</b>	<b>2月1日</b>	ISO27001認証取得(ドメインレジストリ事業)
<b>2019年</b>	<b>9月25日</b>	サーバー証明書認証局の信頼性を保証するWebTrust規準に準拠
<b>2020年</b>	<b>1月21日</b>	電力系通信事業者2社とJP DNS初となるローカルノードを運用開始
<b>2021年</b>	<b>7月12日</b>	JPドメイン名の登録数が170万件を突破
<b>2022年</b>	<b>6月1日</b>	東京本社を増床
	<b>9月28日</b>	

# Japan Registry Services CORPORATE PROFILE

## □主要株主(五十音順)

- 株式会社IDCフロンティア
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社インターネットイニシアティブ
- 株式会社ASJ
- 株式会社SRA
- エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
- KDDI株式会社
- さくらインターネット株式会社
- GMOインターネットグループ株式会社
- ソニーグループ株式会社
- 第一生命保険株式会社
- TIS株式会社
- 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
- 東日本電信電話株式会社
- 株式会社日立製作所
- 三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
- 日本レジストリサービス持株会/役員

## □主な加盟・参加団体

- 一般社団法人ICT-ISAC
- 一般財団法人インターネット協会 (IAJapan)
- 大阪商工会議所
- 特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会 (JAPIAS)
- 公益社団法人経済同友会
- 一般社団法人テレコムサービス協会
- 東京商工会議所
- 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 (JAIPA)
- 一般社団法人日本経済団体連合会 (経団連)
- 日本DNSオペレーターズグループ (DNSOPS.JP)
- 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC)
- 日本ネットワーク・オペレーターズ・グループ (JANOG)
- フィッシング対策協議会
- IPv6社会実装推進タスクフォース
- WIDEプロジェクト
- Asia Pacific Top Level Domain Association(APTLD)
- CA/Browser Forum
- Council of European National Top Level Domain Registries(CENTR)
- Country Code Names Supporting Organisation(ccNSO)
- DNS Operations, Analysis, and Research Center(DNS-OARC)
- DotAsia Organisation Limited
- Internet Corporation for Assigned Names and Numbers(ICANN)
- Internet Engineering Task Force(IETF)
- Internet Society(ISOC)
- World Wide Web Consortium(W3C)

**JPRSは、ドメイン名の登録管理・取り次ぎとDNSの運用を中心とするドメイン名サービスを行っています。更に、インターネットを支える各種技術の研究・開発にも取り組んでいます。**

**サービス全体のコンセプト**

- 信頼性:社会的に信頼されるサービスの確立
- 安定性:安定したシステムの運用・管理
- 利便性:利用しやすいサービスの提供
- 経済性:適正なサービス料金の設定



**JPRSの事業概要について**

**ドメイン名サービス**

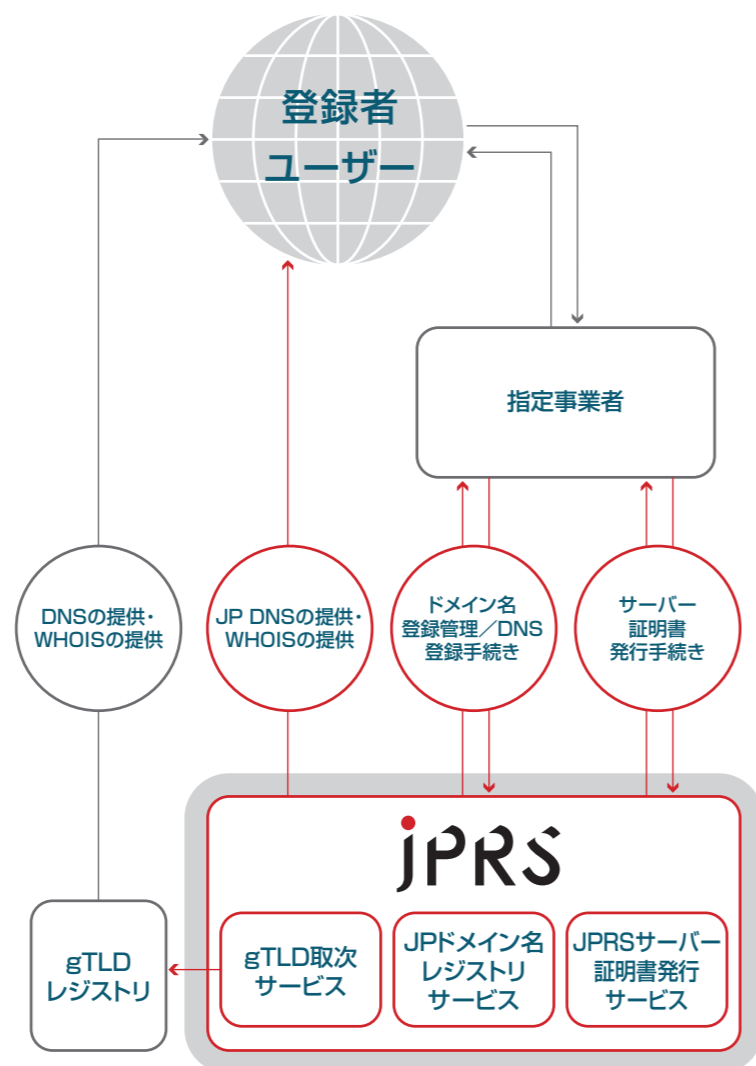
ドメイン名の登録は、まず登録希望者が指定事業者へ申し込みを行い、指定事業者からJPRSに手続きが行われます。このような構造を取ることにより、登録者へ提供するサービスの多様化、競争による品質の向上、サービス規模の拡大が可能になります。

JPRSは、JPDドメイン名のレジストリとして、指定事業者を通して申し込まれたJPDドメイン名の登録資格審査/受け付け、登録されたすべてのJPDドメイン名のデータベース管理と運用を担います。具体的には、世界中のユーザーに対し、JP DNSの運用、WHOISによる情報提供などのサービスを行っています。

また、指定事業者を通して申し込まれたJPDドメイン名以外のドメイン名(gTLDなど)についても、各レジストリへの取り次ぎを行っています。

更に、ドメイン名の安全性・信頼性を高めるために、サーバー証明書発行サービスも提供しています。

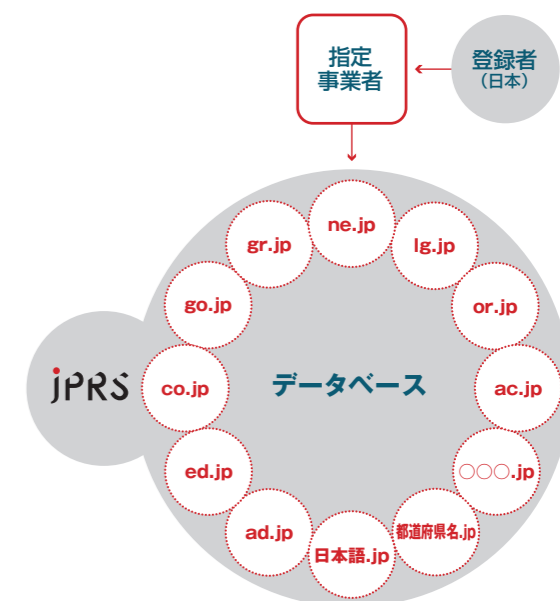
この他、登録者・ユーザーのニーズに迅速に対応するため、新技術の開発や研究も進めています。



**JPDドメイン名登録管理業務を理解いただくための3ポイント**

**1 JPDドメイン名の登録管理**

JPRSは日本に割り当てられたドメイン名である「JPDドメイン名」の登録管理を行っています。ドメイン名はインターネット上のコンピューターを識別するための名前で、「インターネット上の住所表示」とも言われ、住所と同じように世界で一つしかありません。そのため、ドメイン名は重複しないよう、決められた一つの組織によって、正しく登録管理されなければなりません。JPRSはJPDドメイン名の、世界で唯一の登録管理組織(レジストリ)です。私たちJPRSは、登録時にドメイン名が重複していないか、登録条件を満たしているかなどの確認を行うとともに、JPDドメイン名の登録情報のデータベースを運用管理しています。

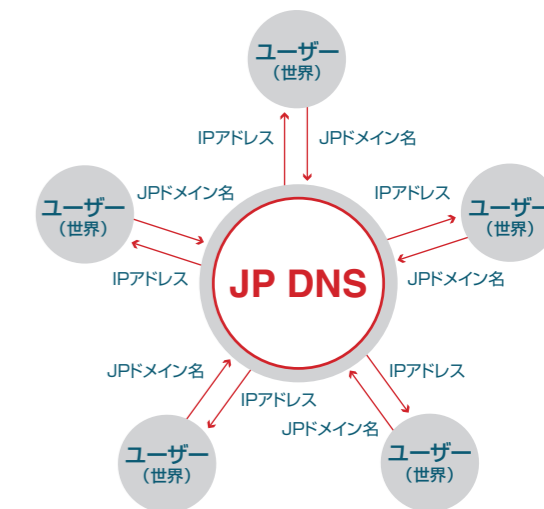


**2 JP DNSの運用**

インターネット上のコンピューターの通信は、実際にはIPアドレスという特別な番号を使って行われるため、ユーザーが入力したドメイン名に対応するIPアドレスを探し出す仕組みが必要です。この仕組みがDNS(ドメインネームシステム)です。

JPRSはJPDドメイン名を管理するJP DNSの運用を行っています。JP DNSは、JPDドメイン名を用いてインターネットにアクセスしようとする世界中のユーザーからの問い合わせに対し、対応するIPアドレスを探し出して答えています。

もし、DNSに不具合が発生すると、ユーザーはドメイン名を使ってインターネットにアクセスすることができなくなります。そのようなことが起こらないように、私たちJPRSは、JP DNSサーバーの多重化や地理的・ネットワーク的な分散配置などの取り組みを行い、24時間×365日体制でJP DNSの安定運用に努めています。



**3 インターネットを支える技術研究・開発**

JPDドメイン名の登録管理とDNSの運用を、より安定的で信頼性の高いものにするためには、最新で高度な技術が欠かせません。私たちJPRSは、インターネットを取り巻く環境の劇的な変化や拡大する社会のニーズに迅速に対応するため、新技術の開発・研究に積極的に取り組んでいます。

具体的には、DNSに関する研究・開発、日本語を利用したド

メイン名である日本語JPDドメイン名の利用環境を整備・推進する活動などを行っています。また、これらの活動を通じて得られた成果を、IETFなどのインターネット関連技術の国際的な標準化組織で共有し、さらには標準化のための提案活動へと繋げていきます。

**ドメイン名とは**

ドメイン名は、インターネット上のコンピューターやサービスを識別するための名前前で、URL(Webサイトのアドレス)やメールアドレスなど的一部分として使われています。その構成は、ルートを頂点とした階層構造を持ち、文字の並びを「.」(ドット)が繋いでいます。JPRSは「.jp」で終わるJPDドメイン名を管理しています。



国際的なインターネット関連組織の一員として、  
安定的で高品質なサービス体制の構築に貢献。  
また「JPDメイン名」唯一の登録管理組織として  
世界に認められています。

## JPRSの世界での役割とは

### 国際的なインターネット関連組織とJPRS

インターネットは国や地域の枠に閉じたものではなく、国際的に開かれたネットワークです。そのため、インターネット全体を円滑に機能させるには、国際的な運用体制の整備が必要です。JPRSはJPDメイン名のレジストリとして、国際的なインターネット関連組織に積極的に参画し、インターネットの安定的で高品質なサービス体制の構築に貢献しています。具体的には、ドメイン名やIPアドレスなどインターネット基盤資源のグローバルな調整やルートサーバーの運用管理を行うICANNの活動を支援するとともに、ccNSOの運営にも携わっています。またアジア太平洋地域のレジストリの連合組織であるAPTLTDにも参画しています。

さらに、インターネット関連技術の国際的な標準化を進めるIETFの会合にも参加し、各種技術提案を行っています。また、

IAjapan、JAIPA、WIDEプロジェクトなどの国内のインターネット関連組織にも参画し、最新動向の情報交換や新サービスの提案・検討、日本語ドメイン名の普及促進活動、研究開発などに取り組んでいます。

### JPDメイン名登録管理業務の 公益性確保とJPRS

JPDメイン名の登録管理業務は、日本のみならず世界全体のインターネット環境に影響するため、公益性のある業務といえます。こうした観点からJPRSは、ICANNや日本国政府、JPNICとの間で、JPDメイン名登録管理業務の公益性確保のための枠組みを維持・強化しながら、豊かなインターネット社会の構築に努めています。

